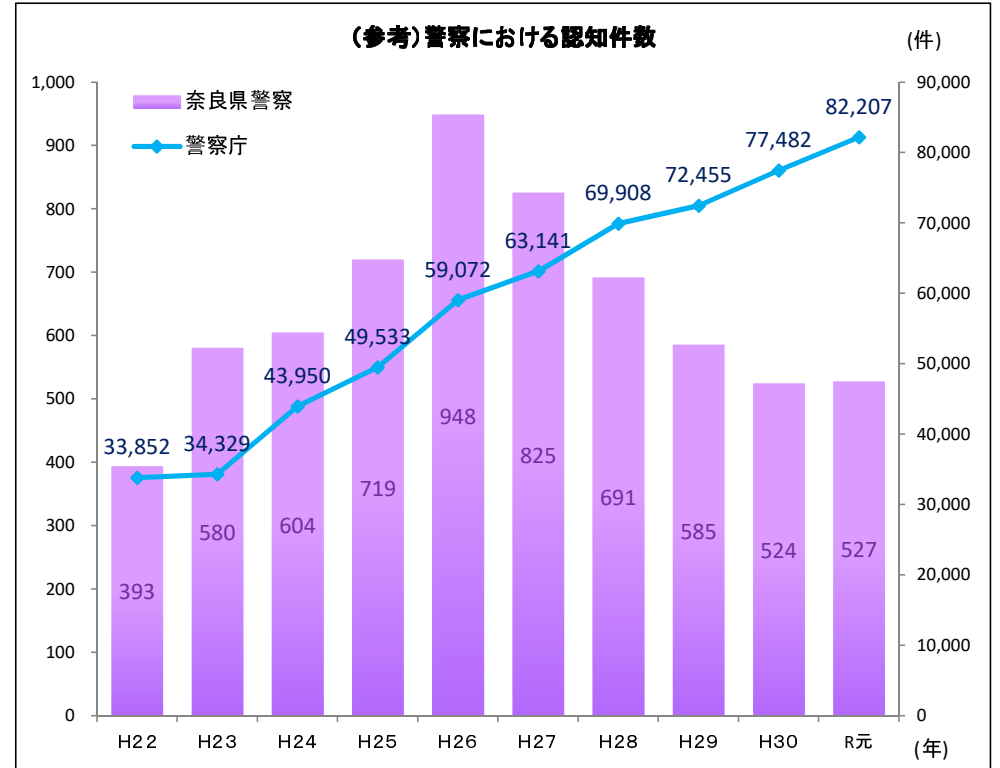
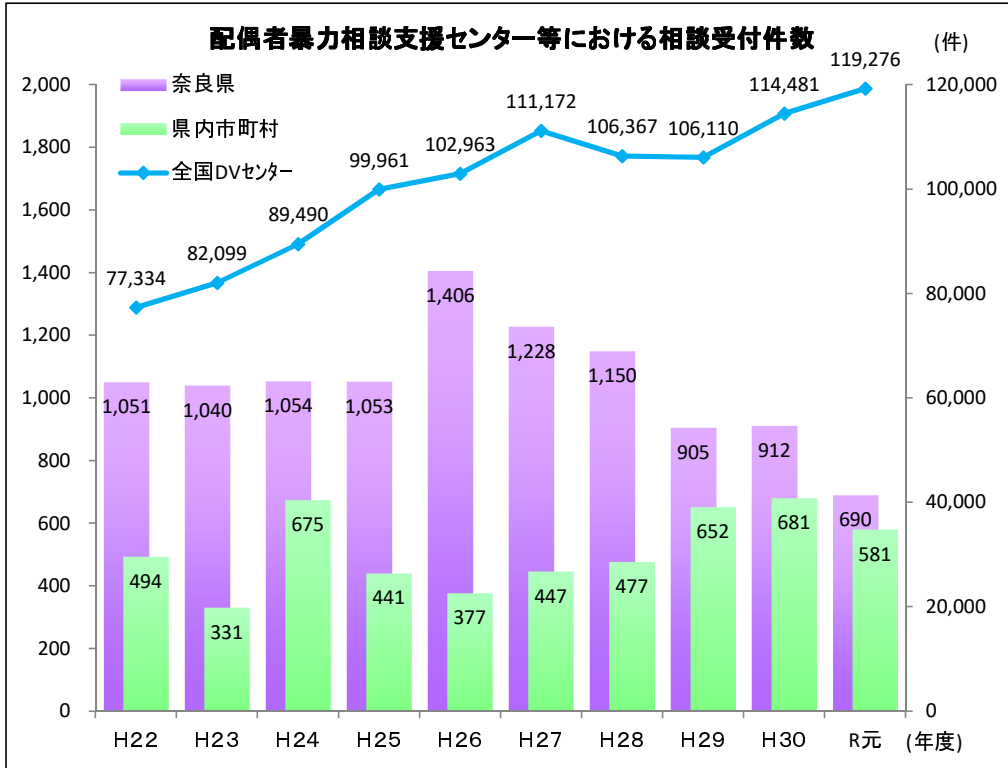


令和元年度奈良県のDV相談受付件数の推移



・奈良県における令和元年度の相談受付件数は、690件であり、前年度に比べ、222件(24.3%)の減少。

※奈良県数値は、中央こども家庭相談センター(配偶者暴力相談支援センター)、高田こども家庭相談センター、女性センターの合計

※全国DVセンターの相談受付件数については、配偶者以外(パートナー、親族等)からの暴力件数は除いて記載

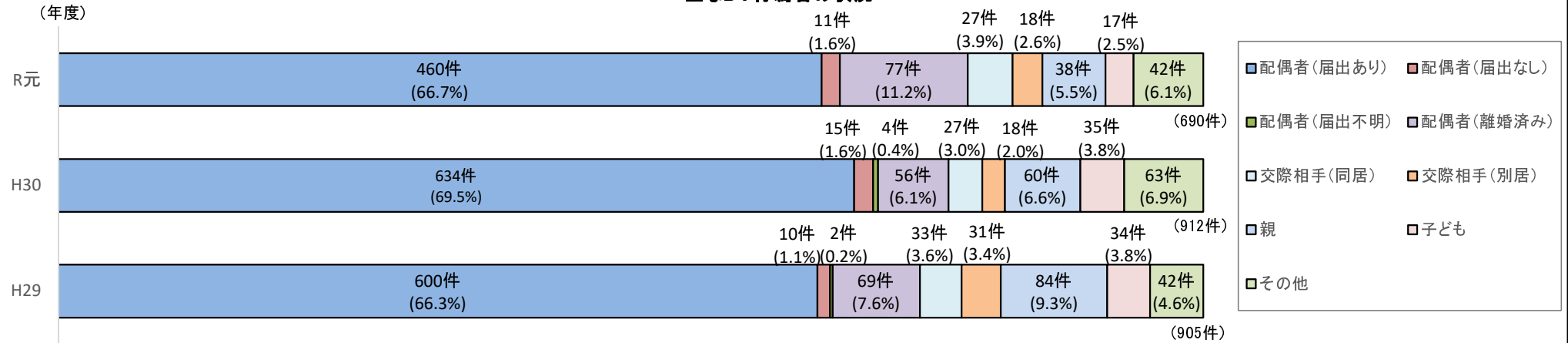
参考添付: 警察における認知件数

・奈良県警察における令和元年の認知件数は、527件であり、前年に比べ、3件(0.6%)の増加。

・警察庁(全国警察認知件数の合計)における令和元年の認知件数は、82,207件であり、毎年増加している。

※警察における認知件数は当該年の1月～12月における認知件数の合計

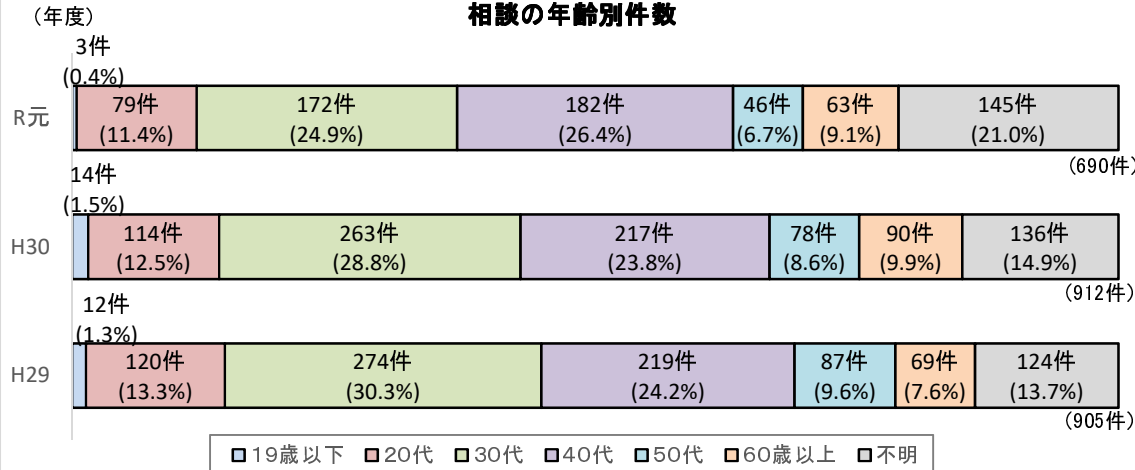
主なDV行為者の状況



・奈良県における令和元年度の相談の主なDV行為者は、「配偶者(婚姻届出あり)」が460件(66.7%)で最も多く、次いで「配偶者(離婚済み)」が77件(11.2%)となっている。

・前年度と比較すると、「配偶者(届出あり)」が174件減少し、「配偶者(離婚済み)」が21件増加している。

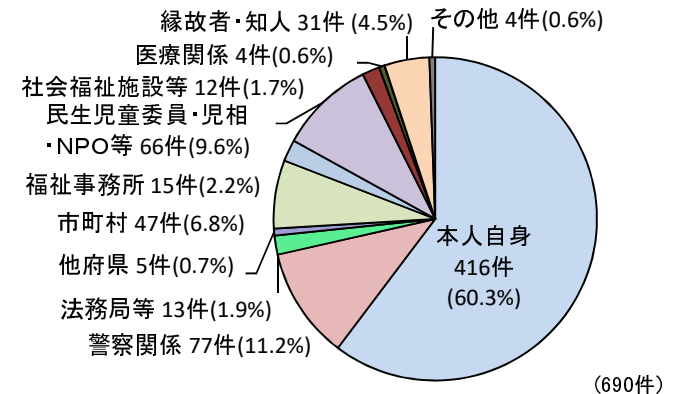
相談の年齢別件数



・奈良県における令和元年度の相談の年齢別件数は「40歳代」が182件(26.4%)で最も多く、次いで「30歳代」が172件(24.9%)となっている。

・前年度と比較すると、「30歳代」が91件減少し、「40歳代」が35件減少している。

相談の受付経路別件数



・奈良県における令和元年度の相談者の受付経路は、「本人自身」が416件(60.3%)で最も多い。